

氏名	瀧田浩平	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	小児看護学				
学位	修士(看護学)				
学歴	2007年秋田大学医学部保健学科看護学専攻、2014年東京慈恵会医科大学大学院医学研究科看護学専攻修士課程				
経歴	2014年東京慈恵会医科大学医学部看護学科助教、2019年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会(役職)	日本小児看護学会、日本看護科学学会、日本育療学会、日本看護倫理学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	系統別看護師国家試験問題集2021年版 解答と解説	共著	あり	医学書院、P162	系統看護学講座編集室；解答・解説者として瀧田浩平、他	2020.4
2	日本小児看護学会小児看護スキルアップ 研修 e-learning 小児看護実践基盤コース 乳児：脱水・急性感染症	共著	なし	日本小児看護学会HP、小児看護スキルアップ研修	田村佳士枝、瀧田浩平	2021.3
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	入院中の子どものセルフケア能力・親のケア能力の向上に関連する尺度の開発	共同		日本小児看護学会第30回学術集会、神戸(オンライン)	○長谷美智子、櫻井育穂、辻本健、瀧田浩平、添田啓子、中田尚子	2020.9
2	オレムセルフケア不足理論を取り入れた組織的教育介入の効果—事例検討会により看護師が認識した実践の変化	共同		日本小児看護学会第30回学術集会、神戸(オンライン)	○添田啓子、望月浩江、田村佳士枝、櫻井育穂、辻本健、瀧田浩平、古谷佳由理、中田尚子、株崎雅子、近藤美和子、黒田京子	2020.9
3	オレムセルフケア不足理論を取り入れた看護記録監査結果から捉えた看護過程の課題	共同		日本小児看護学会第30回学術集会、神戸(オンライン)	○中田尚子、沖田淳也、黒田京子、田村佳士枝、添田啓子、櫻井育穂、望月浩江、辻本健、瀧田浩平、古谷佳由理	2020.9
2	幼児期から就学時期における網膜芽細胞腫の子どもを育てる父親の心理	共同		第62回日本小児血液・がん学会学術集会、福島(オンライン)	○永吉美智枝、瀧田浩平、秋山政晴、高橋衣	2020.11
3	子どもに携わる看護師を対象とした子どもの権利擁護実践を高める教育プログラムの開発と検証—第1段階・第2段階の報告—	共同		第67回日本小児保健協会学術集会、福岡(オンライン)	○高橋衣、三浦靖彦、平野大志、日沼千尋、会田薫子、遠藤里子、瀧田浩平、山田咲樹子、中山紗野子、永吉美智枝	2020.11
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			網膜芽細胞腫をもつ乳幼児の発達促進のための長期フォローアップ体制の基盤構築	研究分担者	2017~2021.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			小児医療者を対象とした子どもの権利擁護実践能力を高める教育プログラムの開発と検証	研究分担者	2018~2021
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			子どものセルフケア、親のケア能力獲得を支援する看護師の教育指導力の定着・評価	研究分担者	2019~2022

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	子どもの保健		2	「子どもの感染症予防と適切な対応」「子どもの救急処置および蘇生法の特徴と実際.AED等の機器の実際」についてオンデマンドでの講義を行った。
2	小児看護学Ⅱ		1	「気管支喘息をもつ子どもと家族の看護」についてオンデマンドでの講義とリアルタイムでの質疑応答を講義として行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	小児看護学Ⅳ		2	web学習で学ぶ演習技術と事例を関連させて考えさせることで単なる技術の学習ではなく看護のとして学ぶことが出来るよう工夫した。
2	子どもと家族のヘルスプロモーション		8	インタビューした内容が、ヘルスプロモーションの学びとして高められるようグループワークでファシリテートした。
3	子どもの保健		5	子どものイメージをなるべく具体的に学べるようDVDなどの視聴覚教材を使用し工夫した。
4	小児看護学Ⅲ		14	PBLでの学びとして、学生主体に疑問をもち気づきを促し、お互いが学びあえるようグループワークでファシリテートした。
4	小児看護Ⅰ		7	グループワークのなかで学生の気づきを促し、学びを共有できるようファシリテートした。
5	ヒューマンケア論		8	オンデマンドとリアルタイムでの遠隔講義をサポートし、学生間のディスカッションや考察を促した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	小児看護学実習		2020.11～2020.12	事例の情報から読み取れる子どもの特徴をより具体的なイメージとして学び取り、看護計画にどのように反映させるかを考えさせることで小児看護の実践に近いケアプランを学べるよう工夫した。
2	総合実習		2020.7～2020.7	事例の情報から読み取れる子どもの特徴をより具体的なイメージとして学び取り、看護を計画し実践をイメージできるようOSCEなど工夫した。学生の目標を学生と共に段階に分けて評価振り返りすることで、自身の看護や学びを評価修正する機会を多く設けるようした。
3	IPW実習		2020.10～2020.10	事例の情報から対象を包括的な理解へつながらよう、グループワークでは学生の専門性を活かし自身の気づきを促すファシリテートをした。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4～2021.1	主指導 2名	副指導 名
2	修士論文		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名
3	博士論文		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	小児の健康状態に応じた看護	慈恵第三看護専門学校	「救急処置を要する児への看護」「手術を受ける小児と家族の看護」	2020.11
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本小児看護学会	診療報酬検討委員会		2019～2021
2	日本小児看護学会第31回学術集会	企画委員		2020～2021

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	実習計画調整会		2019.4~2021.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				